

化法の活用を含め、今年度実施しております商店街実態調査をもとに、「本市の商業活性化の

自民党清和会

伊藤 雅 暢 議員

経営戦略会議の経過と今後の進め方について

問 本市が抱える緊急の事業選択を、経営戦略会議の議論を基に判断すると答弁していたにも拘わらず、経営戦略会議の前に大型事業の判断が報道され紛糾しました。僅か二回の会議で極めて限られた時間の中で、市長は事業の判断をされたようですが、経営戦略会議のこれまでの経過と今後の進め方を伺います。

理事者 財政構造の改革をどの様に進めるかの視点から経営戦略会議ができ、第一回目は、設

あり方」について、商工会議所及び関係団体と協議したいと考えています。

置の目的や第四期総合計画、財政収支計画並びに恵庭駅西口周辺再整備事業、恵み野駅西口整備事業等の特定大型事業の概要を、第二回目の会議では改めて財政状況と事業所管部から特定大型事業の説明をし、事業内容や投資的効果などの質問を受けました。戦略会議からはまだ二回目の会議であり、大型事業の責任ある判断は恵庭市が決断すべきとの話であり、市はそのようにすることを判断したところです。今後経営戦略会議は年六回程度開催し、公共事業や市民サービスのあり方、進め方等を切り口に、まちの活性化と健全な財政基盤の確立について、議論をしていただき、今後の行政運営に反映したい。

財政状況から見た政策判断について

問 恵庭駅西口周辺再整備事業は、あまりにも最悪な事業中止の仕方です。財政収支不足は予測できたはずで、判断そのものが遅きに失した典型です。財政状況から見た市長の政策判断につ

いてお伺いします。

理事者 可能な財源対策を講じて、平成二十三年度までに五億六千万円収支不足が発生する。その一方で平成二十一年度以降に想定される生活道路整備の他、恵庭駅西口周辺整備事業などの大型事業を全て実施すると、財政収支計画で設定した建設事業の一般財源総額を約六億九千万円超過する。市債の発行額も大

住宅用火災警報器の設置促進について

問 本年五月末までに、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。罰則の規定は無いようですが、現在の設置状況と今後どの様にして設置の促進を進めていく考えですか。

理事者 住宅用火災警報器は家電量販店、ホームセンター等で取扱われており、これらの販売店等の情報で、本年一月末の普及率は38・5%と推計されます。消防法では防火安全対策は、居住者の自己責任との判断から、法規制の対象外としております。しかし、住宅火災による死者数の急増から、設置を罰則ではなく、必要最低限の義務付けとして、死傷者を防ごうとするもの

自民党清和会

恵本 武 俊 議員

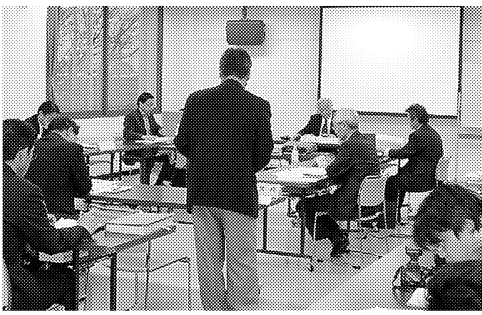
大きく超過し財政の硬直は避けられない見通しで、経常収支改善の取組、建設事業の取捨選択は緊急の課題です。恵庭駅西口整備事業はこうした財政状況を踏まえ、中・長期的な財政運営を見据えた中で、実施の可能性の検討を重ねた結果、区画整理事業と再開発事業の一体的施行は、断念せざるを得ないと判断したところです。

G8・J8サミットを花で迎えるプロジェクトについて

問 道は、サミットの開催に当たり、空港、主会場、関係エリアを花いっぱいでお迎えプロジェクト構想を進めています。恵庭市はどの様に取り組むつもりですか。

です。これまで町内会や老人クラブ、各種団体に広報活動を通じて普及啓発に努めてきたところです。特に高齢の単身者及び夫婦世帯の訪問指導時にも設置の啓発活動を行ってきました。今後も引き続き市広報等による設置の普及啓発活動や、一部の

の方々の立ち寄りも推察され、恵庭、恵み野、島松各駅前を花壇や花樽で飾り、国道36号、道道恵庭岳公園線インターチェンジ付近をウエルカムフラワロードとして花の植栽を、「道と川の駅」で開催予定の「花と暮らし展」会場には、装飾した花々でサミット終了まで展示し、訪れた方々の歓迎と花のまち恵庭のPRを考えています。更に、恵庭で公演予定の「葉っぱのフ



第2回経営戦略会議の様子



住宅用火災警報器設置の啓発活動

レディコンサート」開催時には、会場の市民会館周辺を花で装飾

自民党清和会

川股洋一 議員

消防救急体制について

問 平成十九年度の救急車出動は千八百件を超え、年々増加傾向にあります。市民の生命を守る為には迅速な救急体制の確保は最大の責務です。現在小児科、産婦人科の救急搬送は病院の受け入れ等、大きな社会問題になっており安心して子供を産み育てる環境が必要と思います。恵庭市の現状を含め救急体制についてお伺いします。

理事者 当市の救急体制は、高規格救急車二台、普通救急車一台、救急隊員は専任、兼任合わ

し、来場者や出演者を歓迎したいと考えております。

せて二十三名体制の運用です。

最近では救急救命士による気管挿管、薬剤投与が可能となり、救急救命士の養成が課題です。産婦人科、小児科の受け入れ体制は、市内の産婦人科は一カ所です。救急要請の約二割を収容し、残り八割は札幌市等に搬送しており、特に周産期傷病者は救急搬送先医療機関の協力によりスムーズな受け入れがされております。小児救急は市内の救急告示病院で約八割が収容できている現状です。恵庭は札幌の医療機関に頼る事が多く、どうしたら恵庭独自の医療体制の整備が進むのか。難しい問題ですが恵庭は比較的優位な地理的条件があり、子育ての高い理想を発信することで、呼応するお医者さんとも連携できるように努めたい。

北海道消防広域化推進計画について

問 平成十九年に北海道消防広域化検討協議会において、消防広域化推進計画の素案が示されました。現時点での消防広域化に対する恵庭市の検討経緯をお伺いします。

理事者 消防組織法が一部改正され、消防広域化の検討機関として「北海道消防広域化等検討協議会」が設立され、昨年十一月の「北海道消防広域化推進計画素案」で、恵庭市は千歳市、北広島市、江別市及び石狩北部消防事務組合の圏域に位置づけられています。この圏域での組み合わせでは地理的に広大とな

り、現場到着時間の遅延等、大きなデメリットが想定されます。そのため恵庭市は規模が同レベルで、住民サービスの低下を招かず災害等の対応が図れる、千歳市、北広島市との組み合わせを道に回答したところです。今後、道は再度市町村長の意見を聞き、パブリックコメントを実施し推進計画を策定の予定です。

自民党清和会

鷹羽 茂 議員

恵庭駅西口周辺整備事業凍結の判断がなぜこの時期か

問 本事業は七年前より、地権者及び道・国等と困難な問題を一つずつクリアし、本年度着工の予定でありました。市長は経営戦略会議の議論を基に判断するとして、予算編成時期に突然凍結・延期を判断し、関係者一同に大変な迷惑をかける結果となったのは、見通しの甘さに他ならない。なぜこの時期での凍結・延期の判断となったのか。

理事者 恵庭駅西口周辺整備は、市街地再開発事業と土地区画整理事業の一体的施行として国の補助要望を進めてきた。今後四カ年の収支見通しの中で五億六千万円の財源不足が判明し、行財政の抜本的改革のため、経営戦略会議を立ち上げ、専門家等

り、現場到着時間の遅延等、大きなデメリットが想定されます。そのため恵庭市は規模が同レベルで、住民サービスの低下を招かず災害等の対応が図れる、千歳市、北広島市との組み合わせを道に回答したところです。今後、道は再度市町村長の意見を聞き、パブリックコメントを実施し推進計画を策定の予定です。

の意見を聞き将来の方向性を打ち出す考えとしました。公共負担四十八億円の区画整理事業を含む恵庭駅西口周辺整備事業は、何とか推進したい思いでぎりぎりの調整をしたが、財源確保に目途が立たず、この時期になって一体的施行を断念する、苦渋の選択を行ったところです。

子どもセンターの建設は計画の再構築をすべき

問 旧宮林署跡地は、まなび館を含む「緑と語らいの広場」全体構想が、議会で議論されないまま、建設が進められようとしている。恵庭駅西口整備事業の凍結・延期により、総合センターの設置の前提が崩れたわけですが、子どもセンターを含む施設配置について、計画の再構築を図るべきだと思います。

理事者 旧宮林署跡地を子どもセンター建設予定地にする妥当性は、恵庭駅西口周辺整備構想の公益施設ゾーン土地利用方針に合致し、必要な約二千五百㎡を分割しても約五千㎡強が残り、大規模画地の機能を果たすものです。緑と語らいの広場全体構想の議会議論ですが、基本構想の土地利用方針と整合性が取れ、この広場全体を検討する上で支障がないと考えます。恵庭駅西口整備事業の凍結・延伸により、施設配置の再構築をとの意見ですが、再開発と区画整理の一体整備は断念したが、恵庭駅周辺まちづくり基本構想は生きており、位置づけは変わりません。総合子どもセンターが①子ども拠点施設の機能を持つ。②現児童館の建替え③恵庭・和光地



救急車で救急活動をする救急救命士

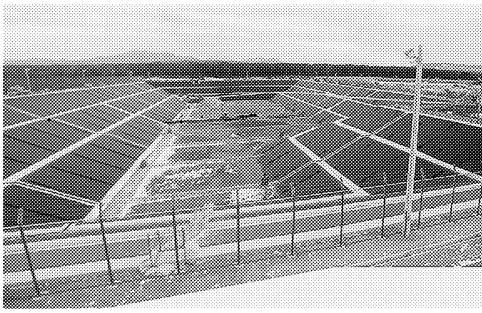


延期・凍結が決まった恵庭駅西口周辺整備の区域

ごみ処理事業の今後について

問 ごみ処理の考え方は一般廃棄物処理基本計画及びごみ減らし市民会議の提言の中でも示され、今後は具体的な施策が求められます。生ごみの適正処理と埋立処理の今後、可燃ごみの千歳市との過渡期処理等は一体化した問題だと思いますが、その考え方と方向性、更には結論をいつ頃出される予定か伺います。

理事者 一般廃棄物処理基本計画の実現に向け、「恵庭市循環型社会形成推進施策案」を審議会に諮問しました。生ごみを循環資源と位置づけ、下水終末処



5月から供用開始される第5期ごみ埋立処分場

この地区が最適と考えます。

理施設を利用したバイオガス化の検討を進めます。また、埋立地はごみ排出抑制や循環資源の拡大を進め、埋立処理量の削減を図る。可燃ごみの過渡期処理は、ごみの排出抑制や生ごみの資源化を含めた循環資源の拡大により、焼却ごみが減少するため、改めて千歳市に委託処理する場合の課題を整理し判断する。その全体的なごみ処理のあり方を二十年度中に方向付けしたい。

子どもを「有害サイト」から守るためについて

問 子供からお年寄りまで携帯電話を持つようになり、便利なツールの一方で、未成年者が有害サイトにアクセスし法外な料金を請求される被害が多発しております。アクセスを制限するフィルタリングが求められ、早急な普及啓発が必要です。市の取り組みと家庭及び教育現場におけるフィルタリングについての取り組みをお伺いします。

理事者 インターネットの情報の中には、出会い系サイト等の有害な情報があふれ、この有害サイトに子どもたちが容易に携帯電話等からアクセスできる状

況にあり、その有効な防止策が有害サイトを規制する「フィルタリング」です。各学校のパソコンにはフィルタリングをしておりますが、家庭のパソコンや携帯電話のフィルタリングは、各家庭が行わなければなりません。有害サイト等からの被害を防ぐには、子どもたちに情報モ

多様な財源確保について

問 市広報や庁用封筒の広告掲載など、収入の確保に取り組みられておりますが、新たな増収策として①市庁舎内、市民会館、総合体育館など、ばらばらに管理されている自動販売機を一元管理し、入札により手数料の増収をはかること。②本来の目的や景観を損なわない範囲で、恵庭駅と恵み野駅自由通路に広告を掲載すること。この二点に対する財源確保策について、ご意見を伺います。

理事者 ①清涼飲料水等自動販売機は、市の二十四施設に六十八台設置され、それぞれの施設等の管理所管部が公有財産規則、使用料条例により設置の許可をしております。自販機は公有財産規則で財産の管理が定められ一

民主・春風の会 柏野大介議員

ラルルールについての教育と併せて、保護者自身が各家庭で有害情報から守るという責任があると思います。今後も、保護者にはフィルタリングの大切さの普及啓発を、子ども達には携帯電話等の危険防止を教育課程の中に位置づけ、早急に取り組みます。

元管理は馴染まないものですが、財源の確保から各所管と一元管理の可能性も含め、収入増に繋がるような検討を続けたい。

②自由通路には、市民掲示板が設置され、行事故内ポスター等の掲示に活用されています。有料広告の掲載は千歳市や北広島市等の自由通路で活用されている状況もあり実態を調査します。



総合体育館に設置の飲料水自販機

また公共施設の景観の配慮は、広告の是非について十分な意見の聴取が必要と考えています。

電子メールによる情報配信について

問 情報媒体が多様化する中で、多くの市民に行政情報を伝えるべくためには、新たな伝達手段が必要と見えます。市民アンケート等に電子メールの活用は、広く意見を聞けますし、費用の削減にも大きな可能性があると思えますのでご検討願います。

理事者 電子メールの活用は、市民がいつでも行政にアクセスできるように、ホームページにメールアドレスを公開し、速やかに電子メールで返信する運用をしています。近年は防災、防犯などの緊急情報を、携帯電話やパソコンにメール配信サービスを行う自治体が増え、さらに一般行政情報のメール配信も見受けられます。電子メールにはタイムリー且つダイレクトに情報を発信する機能があり、新たな情報伝達手段として大変有効だと思いますので、先進自治体の実施状況等を参考にしながら検討したい。また、電子メールによるアンケートについても、経費が節減できる部分もあり、勉強していきたいと思えます。